第４講　2025年度 試作問題 第4問

第４問　生徒D，生徒E，生徒Fは，先生と「倫理」の授業の総復習を行っている。次の**会話文１**および後の**会話文２・３**を読み，後の問い（**問１～５**）に答えよ。（配点　15）

会話文１

D　：先生，古い時代には，ⓐ聖人の教えを理想として崇めるような思想が多いし，結局，今の私たちとはほとんど関係ないんじゃないでしょうか？

先生：聖人の教えを崇めるというのはやみくもに信じ込むのではなく，それを人生の理想として主体的に選び取ることなんじゃないかな？ たとえば，ⓑ法然は「選択」ということを強調しているけれども，これは，衆生を救う方法として阿弥陀仏が「念仏」を選んだというだけじゃなく，衆生である自分自身が阿弥陀を信じて念仏を称える生き方を選ぶということも意味しているんですよ。

問１　下線部ⓐに関連して，伊藤仁斎は，『童子問』で『論語』を「最上至極宇宙第一の書」と呼び，孔子を「人類史上空前の聖人で，堯舜よりはるかにまさっている」と述べている。仁斎の孔子観として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［18］

① 孔子は，一般の人には知り難い究極の真理を発見した。
② 孔子は，一般の人が聖人になるための修行法を発明した。
③ 孔子は，聖人と一般の人を区別する社会秩序を作った。
④ 孔子は，聖人の行いから一般の人が行い易い道を構築した。

問２　下線部ⓑに関して，生徒Ｆは，『法然上人絵伝』の中にある次の絵を資料として用いた「倫理」の授業の要点をノートに書き留めた。後の**ノート**中の空欄［ア］～［ウ］に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［19］

ノート

絵の右側の人物が法然で，左側の人物が唐の僧侶［ア］である。雲は極楽浄土を象徴する紫雲で，極楽浄土に住むとされるクジャクやオウムの姿も見える。［ア］の教えを尊崇していた法然が夢で［ア］と対面したという言い伝えを描いたものである。

法然は，称名念仏こそすべての衆生を救おうという阿弥陀仏の［イ］に適った行であると説いたが，こうした教えは［ア］の思想に基づくものである。［ウ］の『往生要集』が，法然が［ア］の教えと出会う一つの機縁となっている。

①　ア　竜樹　イ　正機　ウ　源信
②　ア　善導　イ　正機　ウ　源信
③　ア　竜樹　イ　正機　ウ　空也
④　ア　善導　イ　正機　ウ　空也
⑤　ア　竜樹　イ　本願　ウ　源信
⑥　ア　善導　イ　本願　ウ　源信
⑦　ア　竜樹　イ　本願　ウ　空也
⑧　ア　善導　イ　本願　ウ　空也

会話文２

Ｅ　：でも，封建的な社会では，生きるも死ぬも主君の命令が絶対で，自分で自分の人生を選ぶことはできなかったんじゃないでしょうか？

Ｆ　：僕のノートには「武士道というは死ぬことと見つけたり」って書いてあります。

先生：その言葉で有名なⓒ『葉隠』の山本常朝の主君鍋島光茂は当時としては開明的な殿様で，幕府に先んじて自分の藩で家臣の殉死を禁止したんだ。だから，常朝が主君の命令として死ぬことを強制されて，そう言っていたわけじゃないんですよ。

Ｅ　：なるほど，古い時代には現代のような自由は認められていなかったけれど，むしろ困難な状況だからこそ自分の生き方を自分に向けて問い，考えたんですね。逆に現代も，すべてが自由なわけじゃないですよね。

Ｄ　：確かに現代も一見自由に見えるけど，女性差別も根強くて，女子が自分の人生を主体的に生きるのは大変なのかも。私ももっとよく考えたい！このあいだのⓓ国学についての資料に女性の話が出てたっけ。

問３　下線部ⓒに関して，常朝が主君に対して行うべきと考えたこととして**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 20

① 主君をひたすら恋して支えるが，死ぬまでその気持ちは打ち明けない。

② 主君が受け入れそうもない提言・苦言を，主君のために命懸けで行う。

③ 泰平の世では，主君念願の事業を達成するための奉公に死力を尽くす。

④ 職分を知り，無駄死にしない覚悟を決め，主君の敵と戦場で斬り合う。

問４　下線部ⓓに関連して，ある国学者が儒学を批判しながら，思想の担い手を拡張しようとした次の**資料**を読み，その著者名を後の**ア**～**ウ**のうちから，文章中の空欄［　　］に共通して当てはまる用語を後のａ～ｄのうちから，それぞれ正しいものを一つずつ選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［ 21 ］

資料

　すべて人の心というものは，真の情は，いかなる人でも愚かに未練がましいものだ。それを隠せばこそ賢こげには見えるけれども，真の心の内を探って見れば，誰も彼も子ども・女のようにはかないものだ。外国の書は，それを隠して，表向き・うわべの賢こげなるところを書き表し，この国の物語は，その心の内の真をありのままに言うがゆえに，はかなくつたなく見えるのだ。……　物語がよいとするのは，［　　］を知る人だ。悪いとするのは，［　　］を知らぬ人だ。

著者名

ア　荷田春満　　**イ**　賀茂真淵　　**ウ**　本居宣長

空欄［　　］に当てはまる用語

ａ　ますらをぶり　　ｂ　物の心　　ｃ　真　心　　ｄ　もののあはれ

①　**ア**－ａ	②　**ア**－ｄ	③　**イ**－ａ	④　**イ**－ｂ
⑤　**イ**－ｃ	⑥　**ウ**－ｂ	⑦　**ウ**－ｃ	⑧　**ウ**－ｄ

会話文３

Ｅ　：能や茶道などの伝統的な芸能では，個人の自由よりも決められた「型」に従うことを強調していたように思いますが，どうなんでしょうか？

Ｆ　：僕のノートに，倫理とは「一定の行為的連関の仕方」であり，人間存在における「きまり」，「かた」を意味するという ⓔ和辻哲郎の考えが書いてあります。

先生：日本の芸道では，まず先に型を正しく身につけることで，むしろ自由になれるという考え方が多くみられます。和辻の倫理学も，人間が制約を受ける存在でありながら，同時に行為の主体であることを強調していますね。みなさんも，まずは過去の思想の型をよく学ぶことで，人生に対する自分なりの考え方を培っていけるんじゃないでしょうか。

Ｄ　：ためになりました。私，主体的になります！

Ｆ　：それもノートに書いておこう、全部。

Ｅ　：「型に自由あり」か。

問５　下線部ⓔに関連して，和辻哲郎は，倫理のあり方が時代によって変遷することについて，次の**資料**にあるように論じている。和辻の論じる倫理の変遷についての説明として最も適当なものを，後の①～④の中から一つ選べ。 22

資料

　およそ人間の存在するところ，従って人間関係の成り立っているところには，その理法としての倫理が働いており，また何らかの程度に客観的な形にまでその倫理が実現せられている。ところでその倫理は，実践的行為的連関としての動的な人間関係の理法なのであるから，絶えず新しく歴史的に実現されなくてはならない。とともに，それは……一定の風土に根をおろした特定の社会として実現されなくてはならない。……

最初には倫理の実現として積極的創造的な意義を担っていた一定の人間関係が，全然反対のものに転化し，倫理に背反するような働きを示してくる。……倫理は当為の法則であるがゆえに，拘束力を持ちながらしかも遵守されないこともあり得るのである。そこで固定したものを打破し，背反するものを克服して，人間存在の動的展開をその健全な姿に返そうとする運動が，倫理の根源から押し出されてくる。

そうしてちょうど目前の境位において最も痛切に感ぜられる当為の要求に従って，新しい人間関係，新しい社会組織が作り出される。これが変革を通じて倫理の実現されて行く仕方である。

① 倫理の実現として人間関係の全体性を構築していた個人性が停滞した場合，新たに人間関係が組み替えられる。これは，倫理に反する個人性の恣意を全体性の権威により打破する人間存在の動的運動である。

② 倫理の実現として人間関係の全体性を構築していた個人性が停滞した場合，新たに人間関係が組み替えられる。これは，風土的制約からの解放を実現する人間存在の普遍的運動である。

③ 倫理の実現として個人性を規定していた人間関係の全体性が硬直化した場合，新たに人間関係が組み替えられる。これは，社会組織の変革を実現する歴史法則の普遍的運動である。

④ 倫理の実現として個人性を規定していた人間関係の全体性が硬直化した場合，新たに人間関係が組み替えられる。これは，既存の全体性に埋没しない個人性の意義を活かした人間存在の動的運動である。

第 4 講　2025年度 試作問題 第 4 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 4 問 (15)	1	18	4	3
	2	19	6	3
	3	20	4	3
	4	21	8	3
	5	22	4	3